


「逃げる」「凌ぐ」  
ための・・・

情報提供の取組み

NHKではデジタル放送のデータ放送を利用して、河川の水位・雨量の情報を提供しています。

**【気象庁】**  
<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>  
 気象庁では気象予報のほか、レーダによる降水状況などの情報を提供しています。  
 (出典:気象庁ホームページより)



**【国土交通省 防災情報提供センター】**  
<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>  
**<携帯サイト>**  
<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>  
**【国土交通省 XバンドMPLレーダー雨量情報】**  
<http://www.river.go.jp/xbandradar/index.html>



**テレビ画面**




**視聴方法**

- NHK放送衛星の時に、「リモコンの「d」ボタンを押す
- TOPメニューの「生活・防災情報」を選んで決定ボタンを押す。
- 「河川・雨量情報」を選んで決定ボタンを押す。
- 衛星機に登録されている郵便番号を判別し、お住まいの地域の地図画面が表示されます。

**【大阪府 洪水リスク表示図】**  
<http://www.river.pref.osaka.jp/>  
 地先における河川氾濫や浸水の可能性を確認できます。



**【大阪府都市整備部河川室河川防災情報】**  
[http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/kouzuiyosoku/index\\_kouzui.htm](http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/kouzuiyosoku/index_kouzui.htm)  
 大津川流域の雨量、流域内主要河川の水位状況、洪水予報などを確認できます。



**【おおさか防災ネット】**  
<http://www.cds.osaka-bousai.net/pref/index.html>  
 緊急情報、避難勧告・指示、地震津波情報などを提供しています。



防災情報を携帯電話で入手できます。  
 下のQRコードを携帯電話で読み込むか、下記アドレスを入力し、空メールを送信してください。

**川の防災情報**

雨量の動きや全国の川の水位などの情報を携帯電話で入手できます。  
<http://www.river.go.jp/>  
 直接アクセスしてください。



**大阪府河川情報**

身近な河川の水位や雨量の情報を携帯電話で入手できます。  
<http://www.cds.osaka-bousai.net/suibou/mobile/index.html>  
 直接アクセスしてください。



**防災情報メール**

地域に発令された警報・注意報、避難勧告など、防災情報をメールで携帯にお知らせします。  
[tourku@osaka-bousai.net](mailto:tourku@osaka-bousai.net)



大津川水系河川整備計画(変更原案)の詳しい内容について知りたい方は

- (1)以下のホームページに掲載しています。
  - 大阪府都市整備部河川室 (アドレス [http://www.pref.osaka.jp/s\\_kasen/](http://www.pref.osaka.jp/s_kasen/))
  - 大阪府鳳土木事務所河川砂防グループ (アドレス <http://www.pref.osaka.jp/otori/shokai.html>)
  - 大阪府岸和田土木事務所河川砂防グループ (アドレス <http://www.pref.osaka.jp/kishido/shokai.html>)
- (2)以下の場所に資料を備えています。
  - 大阪府府政情報センター(大阪府庁本館1階)
  - 大阪府都市整備部河川室(大阪府庁別館4階)
  - 大阪府鳳土木事務所(泉北府民センタービル)、鳳土木事務所 和泉工区
  - 大阪府岸和田土木事務所(泉南府民センタービル)
  - 和泉市役所 道路河川室、市政情報コーナー
  - 岸和田市役所 道路河川課
  - 泉大津市役所 土木課、市政情報コーナー
  - 忠岡町役場 情報閲覧コーナー

閲覧と意見募集期間は、  
 5月10日(金)から  
 5月24日(金)まで

ご意見はこちらまで

- 《郵送の場合》  
 〒593-8324  
 堺市西区鳳東町4丁390番地1 泉北府民センタービル内  
 大阪府鳳土木事務所河川砂防グループ あて
- 《FAXの場合》  
 FAX 072-275-1588 大阪府鳳土木事務所河川砂防グループ あて
- 《電子メールの場合》  
 メールアドレス [otoridoboku-07@gbox.pref.osaka.lg.jp](mailto:otoridoboku-07@gbox.pref.osaka.lg.jp) 大阪府鳳土木事務所河川砂防グループ あて

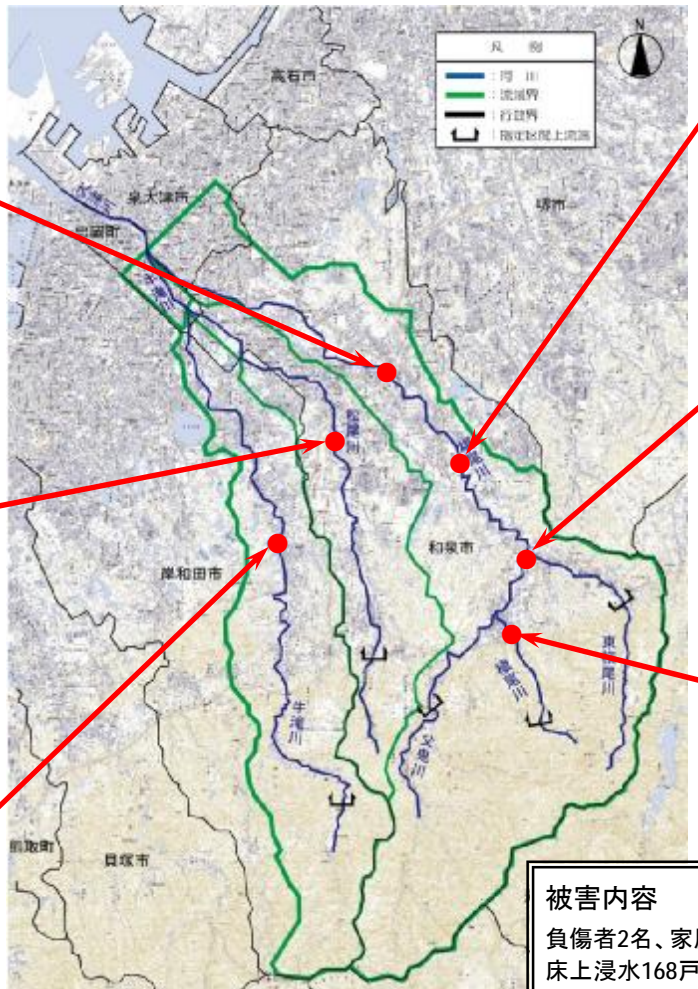
いただいたご意見を踏まえ  
 河川整備計画の対応方針  
 の検討を進めてまいります。


# 大津川水系 河川整備計画(変更原案)

平成25年7月30日(火)  
 平成25年度 第4回  
 大阪府河川整備審議会  
 参考資料 2


をとりまとめました。

過去の大規模水害(昭和57年8月台風10号豪雨)







横尾川泰成橋下流(和泉市池田下町)




横尾川高橋下流(和泉市内田町)




横尾川神田橋上流(和泉市下宮町)



横尾川地蔵橋下流(和泉市坪井町)



牛滝川(岸和田市稲葉町)



横尾川川中橋下流(和泉市三林町)

**被害内容**  
 負傷者2名、家屋全壊2戸、半壊2戸、一部損壊11戸、  
 床上浸水168戸、床下浸水5526戸に及んだ。

## 新たな治水対策

基本となる考えは・・・

【基本的な理念】人命を守ることを最優先とする。  
【取組み方針】

- 1) 現状での河川は氾濫・浸水の危険性に対する府民の理解を促進する。
- 2) 「逃げる」「凌ぐ」施策を強化するとともに、「防ぐ」施策を着実に実施する。
- 3) 府民が対策の効果を実感できる期間（概ね10年）で実現可能な対策及び実施後の河川は氾濫・浸水の危険性をわかりやすく提示する。

## 将来目標（長期計画）

府管理の全河川について、時間雨量 80ミリ程度※1の降雨でも、川があふれて、家が流れ、人がなくなるようなことをなくす。

※1 時間雨量80ミリ程度の降雨は、100年に一度発生する恐れがある降雨

## 当面の治水目標

【今後20～30年の当面の治水目標】

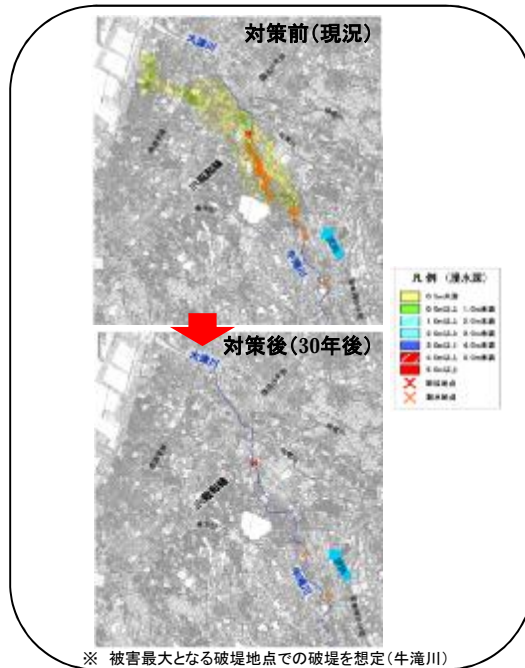
時間雨量50ミリ程度※2の降雨で床下浸水を発生させない。

かつ、少なくとも時間雨量65ミリ程度※3の降雨で床上浸水を発生させない。

※2 時間雨量50ミリ程度の降雨は、10年に一度発生する恐れがある降雨

※3 時間雨量65ミリ程度の降雨は、30年に一度発生する恐れがある降雨

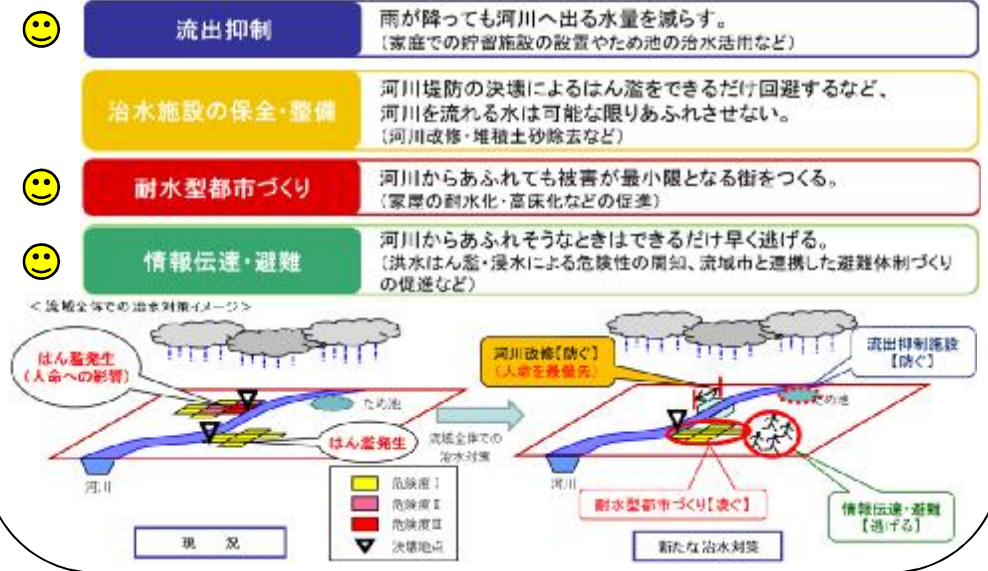
河川整備が進んでも・・・



★★ 大河川 洪水リスクに対して脆弱な地域  
 ★ 河川整備が進んでも(床下浸水)は残る  
 ★ 河川危険度がⅠ(床下浸水)は残る  
 ★ 河川危険度がⅡ(床上浸水)は残る

## 総合的・効果的な治水手法の組み合わせ

※😊印は、地域のみなさまの協力が必要です

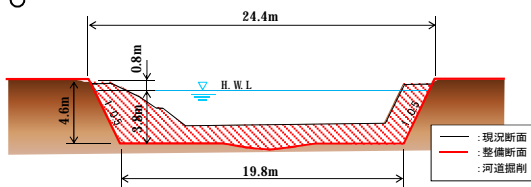


## 「防ぐ」ための・・・

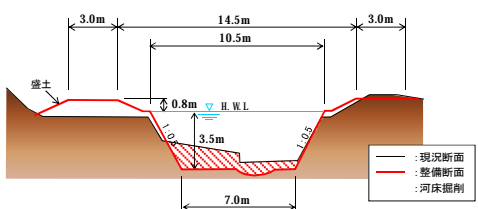
## 河川整備の対象区間

### 洪水対策

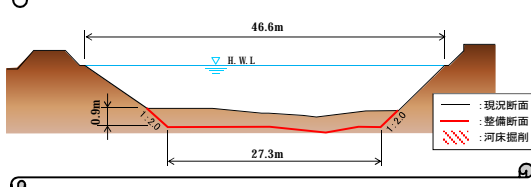
牛滝川(JR阪和線～宮前橋上流区間 他)  
整備目標: 65ミリ程度、整備延長: 約L=4.00km



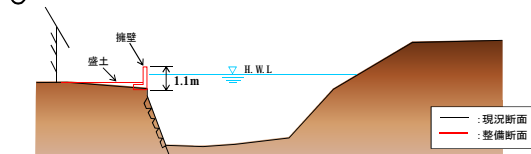
松尾川(庄ノ川橋～冬堂橋上流区間)  
整備目標: 80ミリ程度、整備延長: 約L=0.70km



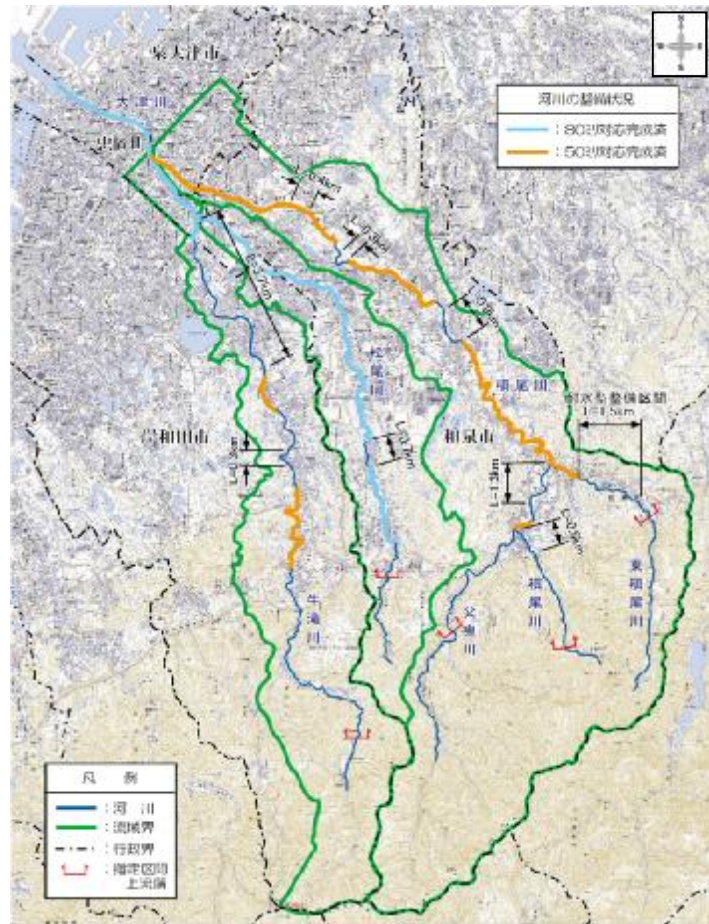
槇尾川(桑原井堰～郷荘橋上流区間 他)  
整備目標: 65ミリ程度、整備延長: 約L=3.80km



東槇尾川(新小路橋～栗木橋下流区間)  
整備目標: 65ミリ程度、整備延長: 約L=1.50km

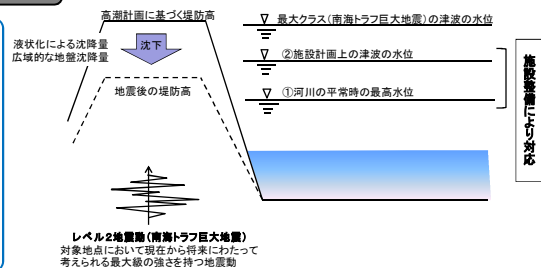


※施設の設計に当っては、河川縦断勾配や曲線等、平面形状による洗掘等を考慮した構造を検討する。



## 地震・津波対策(大津川)

河川部の護岸・堤防の地震・津波対策として、レベル2地震動(南海トラフ巨大地震)による堤防の沈下等を考慮したうえで、施設計画上の津波が越流しないよう護岸・堤防を整備する。



## 河川の維持管理

- 河川管理施設⇒劣化状況等の把握に努め、補修箇所の優先順位を定めて計画的に補修を行う。
- 水衝部等災害が懸念される箇所⇒河床低下対策を実施/重点的な河床低下対策を実施中【松尾川中流(箕形橋～唐国橋)】
- 土砂の堆積等⇒定期的に状況を把握し、地先の危険度などを考慮して優先順位を定めて計画的に撤去を行う。
- 河川空間の維持管理⇒さまざまな地域団体の活動や教育機関との連携に努め、地域住民とともに行う。
- 水質⇒環境基準を満足することはもとより、多様な生物の生息・生育環境の保全等のため、地域との連携による河川への生活排水による河川への負荷軽減に向けた環境教育・学習の推進及び啓発活動を進める。



## 地域や関係機関との連携

- 今後、検討する事項(ため池や農地の活用、公共施設を利用した雨水貯留施設、雨水調整池の設置指導、森林保全、開発による流出抑制施設の恒久化など)
- 地域住民が中心となった「アドプト・リバー・プログラム」等の活動が流域全体に広がり、多様な主体による流域全体での治水・利水・環境への取組みが展開するように努める。
- 槇尾川上流の山地部は比較的都市部に近い貴重な環境資源であることから、様々な主体(地域住民、大学、企業、和泉市等)との連携・協力により森・川・道を保全・再生し、広く府民の交流の場として活用されることを目指す。
- 周辺環境に調和した親水性のある河川空間を検討するなど、川への関心を高め、川に訪れることを促す環境整備に取組み、川とまち、川と人とのつながりを再構築する。



平成25年7月30日(火)  
平成25年度 第4回  
大阪府河川整備審議会

参考  
資料  
2